

シーン - 6 温暖化防止森林づくり担い手確保事業

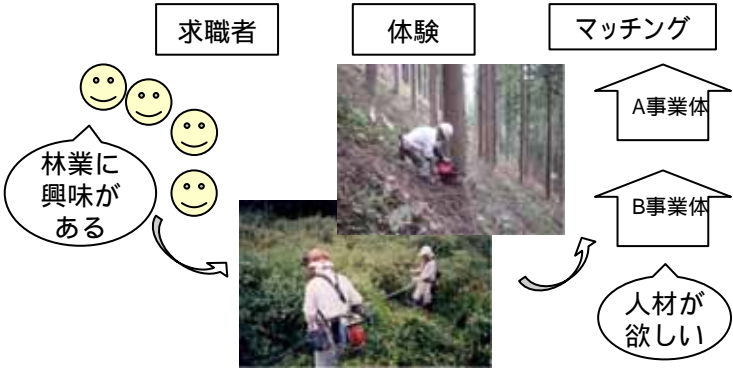
事業目的 間伐等の森林整備を加速化させるため、集約化施策を実践する高度な技能を有する地域リーダーとなる人材を育成するとともに、インターンシップにより新卒者の就業者数の増加と雇用のミスマッチの減少を図ります。また、安全装具の整備により就労環境の改善を図ります。

事業内容

平成25年度の事業費：5,365千円
 実施主体：県、県林業労働力確保支援センター、県森林組合連合会、森林組合等
 補助率：1/2
 事業内容及び事業量
 (1)宮城県森林施業プランナー育成事業 14団地
 (2)みやぎの森林・林業インターンシップ事業
 山仕事ガイダンス 2地域
 インターンシップ事業 2事業体
 (3)就労環境改善事業 13事業体

事業効果

CO2削減効果	
その他(プランナー育成人数, ガイダンス参加人数, インターンシップ受入人数)	プランナー育成人数 20人 ガイダンス参加人数 60名 インターンシップ受入人数 6人



現状

零細で分散している森林所有者の森林の多くは間伐が未実施

1戸当たりの平均保有面積は2.7ha
 単独の森林施業は非効率で採算割れ

税導入後のイメージ

宮城県森林施業プランナーが活躍することで、零細で分散している森林を集約化して間伐を実施

零細所有森林を5ha以上に集約化効率的な森林施業で低コスト化